

7月4日下田まち協主催の「防災研修会」が50人の参加のもと下田まちづくりセンターで行われました。

湖南省 危機管理・防災課の「湖南省の重点取組事業（防災分野）」についての講演と下田北区・大谷区の活動発表がありました。



50名の参加を得て、開催しました。



地域防災・環境部会の谷口 旭部長の司会進行で始まりました。



まず、下田まち協 峰会長より、「桐松区の防災訓練」の紹介を兼ねて挨拶がありました。

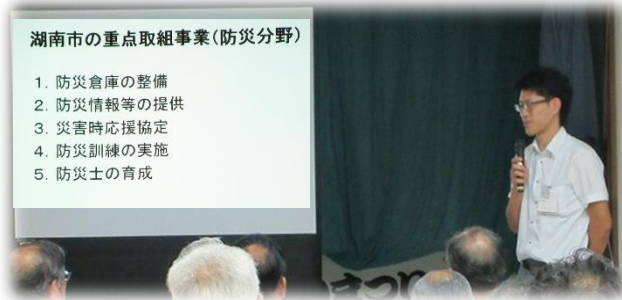


続いて、危機管理・防災課の伊藤課長の挨拶がありました。

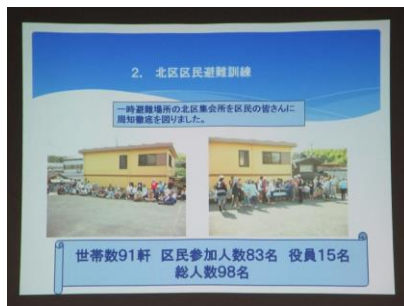
湖南省 危機管理・防災課より「湖南省の重点取組事業（防災分野）」についての講演がありました。

湖南省の重点取組事業(防災分野)

1. 防災倉庫の整備
2. 防災情報等の提供
3. 災害時応援協定
4. 防災訓練の実施
5. 防災士の育成



下田北区 会計の上西さんより「下田北区 防災への取組み」についての活動発表がありました。



その後下田北区 区長より防災への取組みについての思いや補足説明がありました。



続いて、大谷区長より  
 「いま地震が来たら、あなたは自分を守れますか  
 (災害への備えをもう一度見直そう!)」をテーマに防災  
 における注意点や心構えの発表がありました。



各種発表の後、質疑応  
 答があり、区長からの  
 質問や要望がありまし  
 た。



その後研修会に参加して  
 いただいた、藤川市議会議員  
 より、防災への思いを語っ  
 ていただきました。



最後の締めくくりとして、下田まち協 副会長 (防災・環境、  
 福祉・生涯学習担当) の締めの挨拶があり、無事に閉会しまし  
 た。

最近多く発生する災害、地震災害、津波災害、直近に起こった豪雨による土砂災害。日本各地で発生しています。他人事では済まされない災害。いつ起こるか分からない災害。多くの方が思っている、公助の限界と自助・共助の重要性。いざと言う時に「自分の命は自分で守る」「自分で守れ切れない命は、周りが守る」。又、「市(行政)は何をしているんや!」と違って、「自分は今何をすべきか」を考える。そうでなければ地域は守れない。そのような意識が徐々に芽生えてきているように感じました。日頃の地道な防災活動がそうした意識を芽生えさせていると思います。これからも、各区での地道な防災活動を続けて欲しいと思います。今年も湖南省市の防災の日が10月1日(日)に設定され、各地域もそれに合わせて防災活動を計画されていると思います。下田まち協も避難場所運営訓練を行う予定です。皆様のご協力をよろしくお願い致します。